



生活支援体制整備事業

お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第8号 2019年9月

満開の笑顔から見た人の輪
合言葉は『楽しい』

2時間、少しの休憩だけで踊り続ける。しかし、参加者に疲れの色は見えてきません。むしろ「まだやろう」ぐらいの意気込みにも感じます。この会はレクダンスの会です。

会の始まりは2017年6・7月に行われた「マイプラン 5日間コース」です。この時参加した約10名の方から今後も続けたいという声を受け、同年8月に活動が開始されています。

日頃付き合いのある人同士が誘い合い、現在の会員数は22名となっています。この会には繋がりと繋がりが融合し、新しい繋がりが生まれていました。

今回練習していた『Welcome to Tokyo』や『USA』といった最近の曲を含む9曲を少しの休憩を挟みながら踊っていました。また、レクダンスには1人踊りやWサークル、Sサークルでカップなど種類があります。9曲も踊れば疲れると思いますが、終始笑いがあり、1曲終わったらみんなが拍手をし、楽しそうに踊っているのが印象的でした。



レクダンスの会に育っていた実(意味)



この雰囲気を作っているのは先生が「無理なく楽しく。間違えても大丈夫」と話しているからだと思えます。参加者の方も「間違えても大丈夫という雰囲気があるから、気軽に参加できる」「先生も楽しく踊って、どんどん忘れていった感じでやってくれる」と話しており、会には「楽しくやる」という丈夫な根が育っていると感じます。

他にも「リフレッシュになる」「頭と体の体操になる」「気軽に楽しい」「とにかく楽しい」という声が聞こえてきました。

代表の中野さんは「少しずつ人数も増えて3年目に入っています。まずは体験からでも可能なので参加してほしいです。もちろん男性も大歓迎です」と話していました。

今回この会に参加して、小さな繋がりが大きな繋がりになっており、新しく居心地の良い居場所にもなっていると感じました。また、大きな繋がりが実現しているのは、会に浸透している『楽しい』という雰囲気が大きき力になっているのだと思います。

『居心地の良い居場所』『笑顔』を育てるのは『楽しい』という雰囲気だと思えます。これからも会で大事にしてほしいです。